

# きらぽかひろば

Vol.48 2019年12月・2020年1月号

きらぽかひろば ひとが輝き、ぬくもりとuringおいに満ちたまち 西区

## 乳幼児期の子どもとその保護者が気軽につどえる広場です

日時：月・火・水・木 10:00～15:00

金 12:00～17:00

(土日祝はおやすみです)

対象：おもに0歳～就学前の子どもと  
その保護者

場所：西区民センター1階

(西区北堀江 4-2-7)

費用：無料

(出入り自由 スタッフ2名常駐)

電話：080-8511-8773



「雪山とぼくの家族」  
ゆいどろ

きらぽかひろばフェイスブック

<https://www.facebook.com/kirapokahiroba/>



時間内ならいつでも、いつからでもどうぞ。

ちょこっと立ち寄られるかたも

たべもの持参でゆっくりされるかたも

みんなのスペースで会いましょう

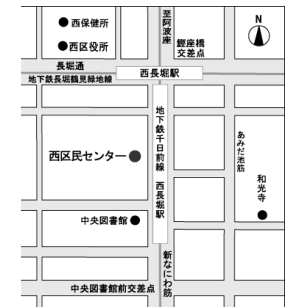
「そのままの自分であることができる」

「妊婦さんも安心してつながれる」

「子どももおとなもともに育ちあう」ことを大切に、

誰もが居心地の良い場をみんなで作っていきましょう。

気軽にお立ち寄りください。



## ～ 絵本読みあいっこ～

絵本の”読みあいっこ”が好き。わたしがひたすら語る「読みきかせ」ではなく、お互いに読みあう読みあいっこ。

最近、娘のほうがり読みたがり、わたしが「読んでもらう」ことが増え、思わぬ発見がありました。一番の魅力は、彼女の心のなかの動きや感性が手にとるようにわかること。以前読んだときに心に残った言葉や形容詞がいきなり出てきたり、絵を読む彼女ならではの、文字にない発見や解釈が加わる。「なるほど、そういう話だったのね」と、なかなかおもしろい。特に興味があるところは長く話すし、重要なページも興味があればあっさり読みとばす。まるで娘の心の地図をみているようです。

また、もう一つの魅力は、わたしにたっぷり余裕ができること。読みきかせとなると、当たり前だけど文字を読みます。余裕があれば「ついで」で娘をみて、あいづちをうつ。ちょっと、こちら主導。多くの子どもたちと一緒に楽しむにはいいけれど、親子や、少ない人数で絵本を囲めるなら、少しもったいない気がします。読みあいっこなら、わたしも絵をじっくり楽しみ、彼女の発見にゆっくりつきあえます。ときにいっしょに興奮もします。

最後の一つは「ありがとう」。読みきかせのとき、わたしは娘に「ありがとう」と言われていました。小さなことだけれど、なんだかうれしい。

親子の間にある絵本は、コミュニケーションのツールでいいのでは？ 絵本を囲む幸せな時間がそこにはあります。「どう思った？」と正面からきいても返事が難しい子ほど、リアルに聴かせてくれますよ。文字が読めるようになる前に、あなたも一度、いかがですか？

冊子『新しい子育て・子育て支援 子育て温泉』より  
公益社団法人 子ども情報研究センター 発行・販売  
(有限会社 双葉堂、2011年3月)

ファミリー子育て何でもダイヤルは、あなたのほっとチャンネルです♪

毎週 水 曜日 10:30～20:00 ☎ 06-6585-9287

小さな悩み、大きな悩み… 誰かに話すとすっきりするかも…

きらぽかひろば(公社) 子ども情報研究センターが  
運営しています HP: <http://www.kojoken.jp/>

